

インピーダンス

日本共産党通研支部
http://impedance.sakura.ne.jp/
jcp.impedance@gmail.com

No. 2646
2023年9月4日
定価 1部 10円



国・東電による海洋放出反対全国行動 「汚染水放出やめろ」 「漁業者との約束守れ」 福島・いわき政党と労組の7者共闘が集会

福島原発で発生した汚染水（アルプス処理水）の海洋放出で8月27日、福島県いわき市で日本共産党、立憲民

主党、社民党の3政党と地元4労働組合の「7者共闘」による「国・東電による海洋放出反対全国行動」が開かれました。「放出をやめろ」「漁業者との約束守れ」と、漁業者や全国から集結した市民の怒りと熱気に包まれました。集会は、国と東電に海洋放出計画の撤回

や放出の即時中止を要求する決議を採択しました。集会に参加した共産党の小池晃書記局長は、政府が海洋放出に突き進む背景に「原発回帰」の動きがあると指摘。原発事故がまだ収束しておらず、住む家や故郷、生業、人生を奪われた人がいるのに、

「原発の再稼働や増設、老朽原発の運転延長など許されない。原

発ゼロの福島の未来をともに開こう」と呼びかけました。



8月27日、福島県いわき市

職場から

NTT株売却の報道（8月23日、朝日新聞）が話題に。「自民党がNTT株売却の議論を本格化させた」「これに呼応し、28日、情報通信審議会で議論が始まっ



財源確保がねらいだ」「完全民営化に向けたNTT法の見直しも検討する」という「国の通

た「現在のNTT法では政府が株式の1/3以上を保有することを定めている」「防衛費の

信主権に関わる大問題だ」

× ×

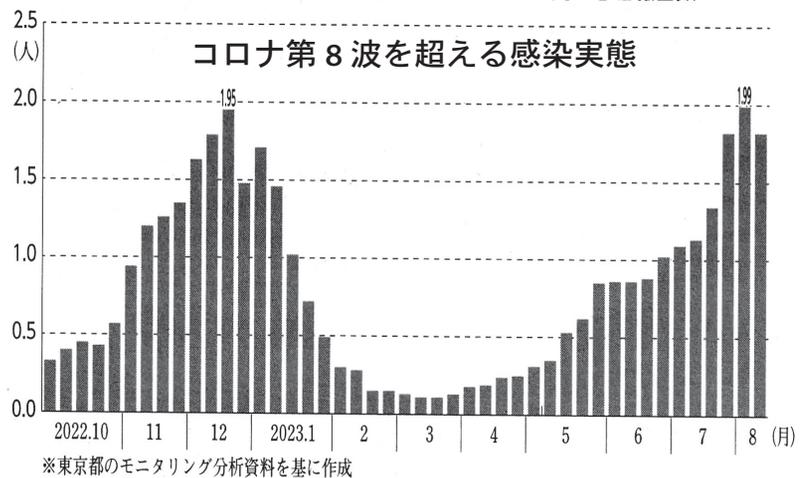
そごう・西武労働組合がストライキ。西武池袋本店がストで臨時休業した。大手百貨店のストは61年ぶりのことだ。「ストライキは教科書でしか知らなかった」と語る20代男性の発言が新鮮だった。「親会社のセブン&

アイが雇用維持など確証のないまま、西武をアメリカの投資ファンドに売却することへの抗議ストだ」「応援したい」「デモには三越伊勢丹など同業他社の労組も参加した」

9月も食品値上げ。「味噌や醤油の調味料、冷凍食品などの加工食品、菓子やアイスなど

今週の数字

東京都の60歳以上の定点医療機関当たりの1週間の患者報告数



関東大震災100年に思う

「当時の記録映像のカラージが行われ、リアルに伝わってくる」



2067品目が値上げされる。「野菜が高い、暑さの影響か」

【つらへ続く】

「根拠のないデマで多くの朝鮮の人が虐殺された」「社会主義者の虐殺事件も起きた」「薬の行商人が朝鮮人と間違われた事件を描く『福田村事件』という映画がいま公開されている」「小池東京都知事は『朝鮮人犠牲者追悼式』への追悼文を今年も送付しなかった。虐殺否定論に東京都がくみするもので納得できない」

国立研究機関 独法化22年 国立試験研究機関全国交流集会

科学技術力の衰退 不安定雇用の増加



国立研究機関の独立行政法人化から22年の検証をテーマに、国立試験研究機関全国交流集会が8月26日、オンラインで開催。主催は、筑波研究学園都市研究機関労組協議会と日本国家公務員労組連合会

でつくる実行委員会。尾林芳匡弁護士が講

演し、独法化について、「リストラ・合理化を強要する制度」と批判し、国立研究機関で日本の研究力低下、基礎研究費や研究者数の削減が進む実情を説明しました。世界では民営化で破壊された公共サービスの「再公営化」が進んでいると紹介し、国民のために役割をどう果たしていくのかが状況を打開するカギだと強調しました。

24年度概算要求 軍事費最大の7.7兆円 本年度比1兆円増 暮らし直撃大打撃

大など、研究現場の深刻な現状やその打開策などについての報告がありました。

【職場からの続き】

ガソリン、過去最高値を更新。「全国平均185.6円。原油価格の高止まりと円安、政府の補助金が段階的に減っていることが価格を押し上げた」

世界陸上(ブタペスト)閉幕。「女子やり投げで北口榛花選手が優勝した。すごい」男子100mでサニブラウン・ハキーム選手が6位、110mハードル

で泉谷駿介選手が5位入賞した「男子35キロ競歩で川野将虎選手が銅メダル」



バスケット世界選手権。「日本は決勝に進めなかったが、フィナンズとベネズエラに勝った」「ベネズエラ戦は大逆転だった」

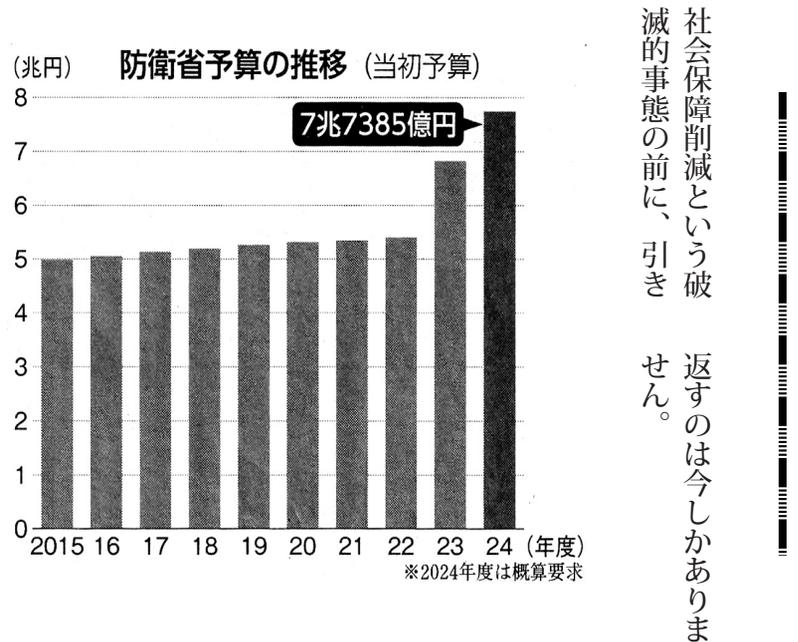
「食料は安い外国産」路線を 転換し、食料自給率向上を国政の柱 にしよう

ロシアのウクライナ侵略などに端を発した食料危機で、世界はも

はや食料をいつでも輸入できる状況になく食料の安全保障には自給率の向上が必須です。岸田政権は農政の見直しを言い出し、6月に「新たな展望方向」をまとめました。

この「展望」には、食料自給率向上に対する言及がなく、過度の輸入依存によって国内農業が痛めつけられ、食料自給率が38%まで下落するに至った反省もありません。農林水産

防衛省は2024年度予算概算要求で、7兆7385億円を計上しました。過去最大の23年度予算よりさらに約1兆円の増額、2年前から実に2兆円以上の増加です(図)。



社会保障削減という破滅的事態の前に、引き返すのは今しかありません。

台風接近。「11号が沖縄に接近している」「12号は勢力は弱いが大雨になりそうだという」

「暑さ寒さも彼岸まで」 涼はいつから？

暑さはお彼岸までなのか。過去10年間のデータを検証。

お彼岸前より最高気温が下がった年は過去10年のうち7年。4℃も下がった年が2回ありました。最低気温はお彼岸前より下がった年は9年ありました。お彼岸あたりから最高気温30℃超の日は減り、最低気温21℃超の日も減っています。

しかしお彼岸を境に涼しくともいえません。暑さのピークを過ぎると少しずつ涼しく感じるようになる。気温の変化のほか、湿度の変化や身体が熱さに慣れるからとも言います。

参考…気象庁&ウェザーニューズHPなど